

1月31日~2月6日は 給食週間です。

学校給食は、明治時代に山形県鶴岡市でお弁当を持って来られない子どもたちに、おにぎりやつけ物を学校で用意したのが始まりです。

その後、全国に広まった給食は、戦争のために中断されました。戦後、外国から届けられたパンや脱脂粉乳により、再び給食が始まり、栄養不足の子どもたちを救ったのです。

これを記念して給食週間が設けられました。

今は食べ物豊かになった日本ですが、食べ物や、作ってくれた人に感謝したり、食生活を見つめ直してみよう。

給食週間には...

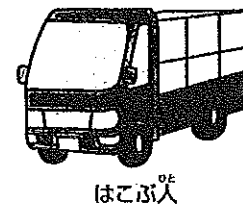
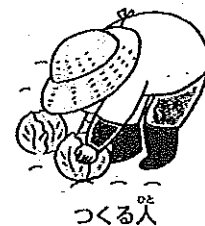
- ★ 学級ごとの給食がんばり目標を作り、取り組みます。
- ★ 1,2年生の教室に調理員さんを招待して交流給食をします。
- ★ 3,5年生は土田先生といっしょに栄養についての学習をします。
- ★ 給食委員会がワゴンチェックをします。
- ★ 2月3日(金)のまるごと京丹後食育の日には、京丹後市でとれる旬の食材について学びます。農家の方を招待して5年3組教室でいっしょに給食を食べていただきます。

たいせつな「いのち」



かんしゃして食べよう

みなさんのもとへ給食がとどけられるまでに、たくさんの人が、かかわっています。



それぞれの人の思いやたいへんさを知り、かんしゃして食べましょう。